

目 次

はじめに v

第1章	プロローグ：日本語の独自性？	1
第2章	二種類の自動詞	6
2.1.	非能格動詞と非対格動詞	6
2.2.	日本語の非対格現象	13
2.3.	移動動詞と非対格仮説	19
第3章	所有や存在を表現する動詞	22
3.1.	存在と所有の表現	22
3.2.	所有者の特性	25
3.3.	他動性	28
3.4.	動的な意味の存在・所有文	33
第4章	場所格交替	38
4.1.	交替現象	38
4.2.	場所格交替の成立条件	39
4.3.	全体解釈と部分解釈の違い	42
4.4.	全体解釈と部分解釈の由来	44
4.5.	除去・漏出を表すタイプの場所格交替	49

第5章	ものの受け渡しを表現する動詞	54
5.1.	格助詞と意味関係	54
5.2.	二重目的語動詞	56
5.3.	授受動詞の性質	57
5.4.	「から」の置き換え	62
5.5.	与格の成立条件	63
5.6.	所有者の意味制約	66
第6章	品詞の認定	70
6.1.	ことばの部品としての品詞	70
6.2.	品詞を分ける方法	74
6.3.	「ない」の特殊性と文法化	76
6.4.	分類の方向性	81
第7章	隠された主語	84
7.1.	日英語の統語構造	84
7.2.	付加詞の修飾	87
7.3.	主語を修飾する付加詞	90
7.4.	分裂動詞句の仮説	94
第8章	所有者が上昇するとき	101
8.1.	大主語の現れる構文	101
8.2.	所有者上昇の特徴	106
8.3.	所有者敬語の成立条件	109
8.4.	名詞句の上昇	111
第9章	所有文の定性の制約	114
9.1.	修飾表現の制約	114

9.2.	意味的特徴	118
9.3.	定性の制約の特徴	120
9.4.	拡張所有構文	123
9.5.	リスト用法	124
第10章	イディオム	130
10.1.	イディオムとは?	130
10.2.	イディオムの全般的な特徴	131
10.3.	イディオムの統語的特徴	133
10.4.	非対格仮説	139
第11章	語彙変化	144
11.1.	語彙要素から文法要素への変化	144
11.2.	範疇の認定	146
11.3.	否定のイディオムに現れる「ない」	149
11.4.	機能語としての「ない」	154
第12章	否定の環境で現れる表現	157
12.1.	否定の環境以外でも現れる否定極性表現	157
12.2.	意味的認可条件	162
12.3.	統語的特性	167
第13章	否定の形容詞	172
13.1.	複雑な語	172
13.2.	「危なげがない」と「たわいがない」	176
13.3.	「しょうがない」	183
13.4.	結合度からみた「ない」形容詞	184

第14章 感嘆表現	186
14.1. 用言の性質	186
14.2. 形容詞と形容動詞の活用	188
14.3. 感嘆表現と形容動詞の名詞用法	190
14.4. 修飾表現と感嘆表現	192
14.5. 連体詞と感嘆表現	196
第15章 エピローグ	198
参考文献	203
索引	209